

富山県大沢野町産ナガレヒキガエルについて

著者	南部 久男
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	11
ページ	138
発行年	1987-11-30
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=539

短 報

富山県大沢野町産ナガレヒキガエルについて

南部 久男

富山市科学文化センター

富山県では記録の少ないナガレヒキガエルが本種の分布の東限地を更新する大沢野町で確認されたので簡単に報告する。

同定いただいた京都大学松井正文博士に厚くお礼申し上げます。

ヒキガエル科 Bufonidae

ナガレヒキガエル *Bufo torrenticola*

M. MATSUI

標本：TOYA-Am-36 (図1) (富山市科学文化センター両生類標本登録資料番号)。オス，体長86.3 mm，鼓膜長径 (左) 2.5mm。

採集地：富山県大沢野町御前山 (標高350m)

採集年月日：1980年10月7日

採集者：南部久男

備考：夜間に林道上で採集したもので，同時にアズマヒキガエル *B. japonicus formosus* 12個体採集された。

本種は1976年に新種記載されたヒキガエルで本州の近畿地方及び中部地方西域の山地に生息し，富山県，石川県，福井県，岐阜県，

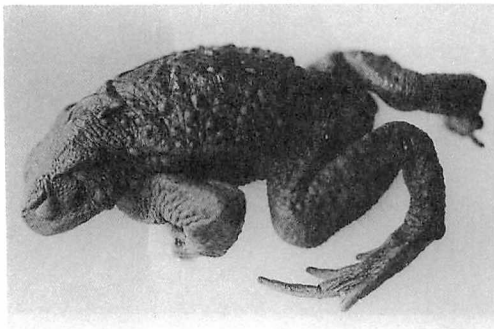


図1 大沢野町産ナガレヒキガエル *Bufo torrenticola* (TOYA-Am-36, ♂, 86.3mm)

滋賀県，京都府，奈良県，三重県，和歌山県の一府八県に分布する (MATSUI, 1976, 1980, 1984; 南部, 1980)。

富山県はナガレヒキガエルの東限地であるが，本県及び県境付近の生息地は，石川県金沢市森本川上流，富山県城端町山田川源流，同八尾町白木峰の標高500 mを越す山地から知られているにすぎない (南部, 1980; 図2)。今回確認された大沢野町御前山は県内では最も標高の低い生息地であり，富山県東部の山岳地帯からは現在のところ確認されておらず，今回の生息地は分布の東限にあたる (図2)。

文 献

MATSUI, M., 1976. A new toad from Japan.

Contr. Biol. Lab. Kyoto Univ. 25: 1-9.

松井正文, 1980. ナガレヒキガエルの発見。

採集と飼育42(3): 140-141.

MATSUI, M., 1984. Morphometric variation

analysis and revision of the Japanese toad

(Genus *Bufo*. Bufonidae). Contr. Biol. Lab.

Kyoto Univ., 26: 209-428.

南部久男, 1980. ナガレヒキガエルの新産地。

富山市科学文化センター研究報告, 2: 35-

39, pls. 2.

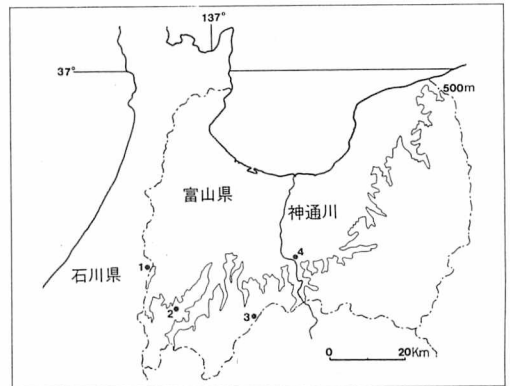


図2 富山県及び県境付近におけるナガレヒキガエルの既知産地及び新産地 (南部, 1980より作成)。1. 石川県森本川上流 (標高550 m) ; 2. 富山県城端町山田川源流 (750 m) ; 3. 八尾町白木峰 (1560 m) ; 4. 大沢野町御前山 (350 m)。